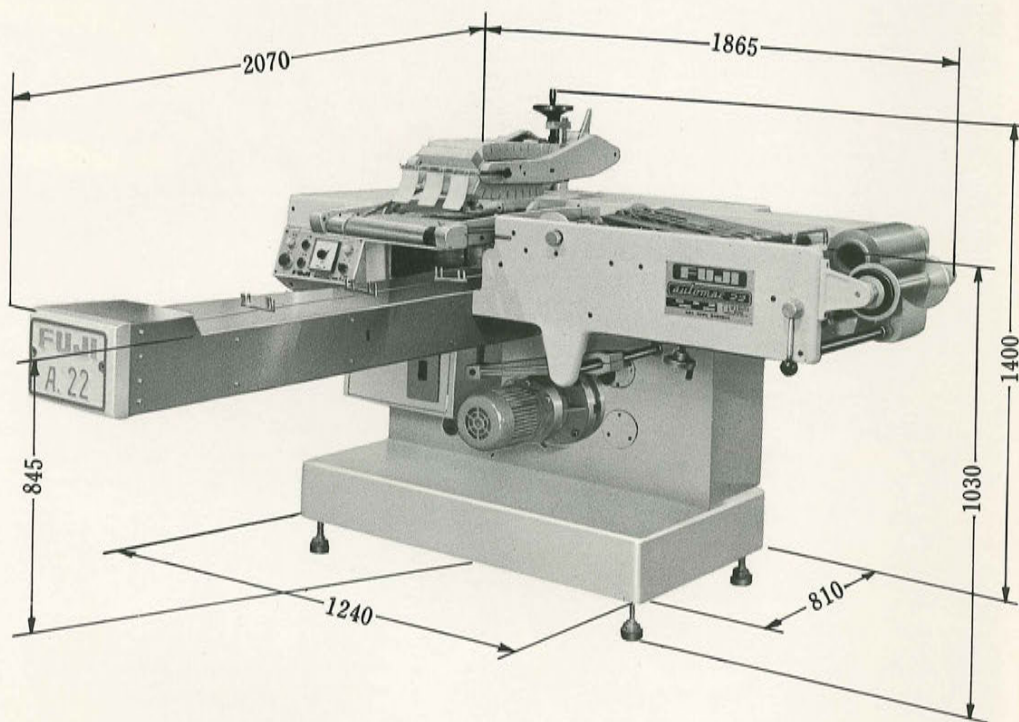


今、話題の——
ストレッチ・フィルム包装機.!!



FUJI
AUTOMAC-22

使いやすさはもちろん 包装の美しさはハツグン!!



●特長

○形状のよりごみをしないことです。

(写真をご覧ください。)

○サイズが不揃いで、トレイよりはみだしていても包むことが出来ます。

○包装寸法範囲(トレイ底辺寸法90×120mm～160×260mm、高さ10mm～120mm)であればランダムに流すことができます。

(トレイ寸法の変更には何ら調整は要しません。)

但し商品の高低に大きな差のある場合は、ハンドル調整の操作を要します。

○作業はいたって簡単で、トレイにのせた商品を供給コンベア上に置いて頂ければあとは全自動で包装し排出します。

(供給コンベア上に商品の置かれなかった場合はフィルムの繰り出しはしません。)

○ストレッチ・フィルムの弾性を利用して包みますので、熱・ガスの発生によって商品をいためることはありません。(弾性のないフィルムは使用できません)

この包装機A-22の仕様は

○1分間当りの包装能力は、28～30ヶです。

○電力は、モーター0.75KW、ヒーター1KWです。200V 3相で準備下さい。

○このA-22はオプションで、右廻り左廻りの排出コンベア、3m・5mの延長供給コンベアを取りつけることができます。

○このA-22は、フルオートデジタルプリンター等と接続することができます。

○このA-22は富士機械がスイスのワルデッカーとの契約により日本での製造販売権を得ており、この包装機のパテントはアメリカを始め世界各国に登録されています。

(この機械は国外への持出しは禁じられています。)



■技術で奉仕・フジパッカー

FUJI

富士機械興業株式会社

本 社 名古屋市東区中村区則武町1-63

営業本部 名古屋市西区山田町中小田井大木曾50

東京営業所・大阪営業所・福岡出張所

☎052>452-1211(代) ☎453

☎052>502-1211(代) ☎452

ストレッチフィルム包装機 A-22

昭和47年にワルディッサ社（スイス）との技術提携により商品化したオートマック社製A-22。

トレーに乗せた生鮮食品や塩干物、加工食品などをフィルムに押し上げる方式で綺麗に包装。不定形商品の無調整連続パックができ、高性能でコンパクト、取扱いが容易など多様な特徴を備えた包装機です。

初めてA-22をお披露目したのは昭和47年9月、この時期はスーパーマーケットのチェーン店展開やビッグストアの出店ラッシュもあり、市場のニーズと機械の適性が合致しA-22は大変な注目を浴びました。市場ではA-22ブームが巻き起こり、引合いと注文が殺到、対応にてんてこ舞いするほどでした。

展示機械は四国のお客様にて長年使用され、この度役目を終えたため譲り受け展示しております。
